

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

1 学力調査問題より ※平均正答率(%)

<全国学力量習状況調査の結果(令和3年度 6年生 5月時点)>

平均正答率(%)	国語	算数
瀬谷さくら小学校	54	59
神奈川県(公立)	63	70
全国(公立)	64.7	70.2

<国語・算数の結果分析>

国語 平均正答率が神奈川県の正答率と 同等のもの=○ 特に低いもの=△

- 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること。
- 目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。

- △ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
- △ 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること。
- △ 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと。

算数 平均正答率が神奈川県の正答率と 同等のもの=○ 特に低いもの=△

- 棒グラフから、数量を読み取ること。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること。
- 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができること。

- △ 速さを求める除法の式と商の意味を理解すること。
- △ 三角形の面積の求め方について理解すること。
- △ 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できること。

3 児童の学習意欲・学習方法・学習環境・生活面等に関する回答より

○本校児童のよさや強みだと感じられる項目

- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- ・国語の勉強は大切だと思う。
- ・算数の勉強は大切だと思う。
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

○課題を感じる項目

- ・自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すこと。
- ・友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすること。
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行うこと。
- ・毎日の起きる時刻が一定ではない。
- ・英語の勉強はあまり好きではない。

4 今後の対策と指導の方向性

○ペアやグループで話し合う活動を多く取り入れることで、自分の思いや考えに自信をもって発表できるようにする。また、友達と考えを交流することで、相手を理解する態度や他者の考えを受容する態度を育てる。

○それぞれに合った課題に取り組み、自分の力を伸ばせるように支援する。また、興味をもてる授業の展開を行い、練習問題に取り組み、学習の定着を図る。

○新しく学習する内容と関連させて、既習事項の復習を行い、公式などを理解して確実に使うことができるようにする。